

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 ニチバン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4218 URL <http://www.nichiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 直人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理部 部長 (氏名) 酒井 寛規

TEL 03-5978-5601

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	18,192	△8.0	687	2.8	678	△1.0	370	9.1
21年3月期第2四半期	19,778	—	668	—	685	—	339	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	8.94	—
21年3月期第2四半期	8.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	42,610	22,335	52.4	538.74
21年3月期	42,797	22,150	51.8	534.24

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 22,335百万円 21年3月期 22,150百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	△1.1	1,550	14.9	1,550	10.2	850	12.2	20.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	41,476,012株	21年3月期	41,476,012株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	16,119株	21年3月期	15,138株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	41,460,382株	21年3月期第2四半期	41,462,338株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月15日に発表いたしました業績予想数値を今回上記のとおり変更しております。
- 上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
 上記の業績予想に関する事項は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△1.3	1,100	16.5	1,200	3.2	700	3.0	16.88

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無:有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（6ヶ月）におけるわが国経済は、企業の在庫調整の一巡や政府による緊急経済対策等により一部に景気回復の兆しが見られましたが、依然として失業率が過去最高水準を示すとともに新型インフルエンザが流行する等、将来への不安感から個人消費が弱含みとなり、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当グループではメディカル事業部、テープ事業部に設定した『事業フィールド』単位の戦略遂行による売上拡大と利益確保にグループを挙げて取組みました。その結果、売上高は前第2四半期連結累計期間比8.0%減の181億9千2百万円と減収、経常利益も前第2四半期連結累計期間比1.0%減の6億7千8百万円と減益となりましたが、四半期純利益は前第2四半期連結累計期間比9.1%増の3億7千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千7百万円減少し、426億1千万円となりました。また、利益剰余金が1億2千1百万円増加し、純資産は223億3千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は52.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ3千7百万円増加し、75億8百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ1億9千7百万円増加し、15億9千6百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益、仕入債務の減少額等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ4千万円増加し、9億6千8百万円となりました。これは主に有形固定資産の購入等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ9千万円増加し、5億8千8百万円となりました。これは主に借入金の返済等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（6ヶ月）における業績は、売上高につきましては当初の予想を下回る水準となっているものの、利益面につきましてはコスト削減施策の効果等により、当初の予想を上回る利益を上げることができました。今後の経営環境につきましては、企業の生産、輸出等の落込み、設備投資等の悪化はひとまず底を打った感はあるものの、新型インフルエンザの流行等、将来への不安感が拭い去れないなか、消費者の節約指向が一層進むものと予想されます。

このような厳しい経済状況のもと、当グループではメディカル事業部、テープ事業部に設定した『事業フィールド』単位の事業戦略を基本に、メディカル事業における「ロイヒつば膏[※]20周年キャンペーン」等、主力商品の販促活動、新製品の上市と育成を進めて全社を挙げて売上拡大を図るとともに、徹底した製造、仕入、管理等のコスト削減を実施し、利益確保に取り組んでまいります。

しかしながら、年度後半において景気の急激な回復は見込めないものと判断し、平成21年5月15日に発表いたしました通期の業績予想を、下記の通り修正いたします。

※は登録商標を示しております。

平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	39,500	1,550	1,550	850	20.50
今回修正予想（B）	38,300	1,550	1,550	850	20.50
増減額（B－A）	△1,200	0	0	0	—
増減率（%）	△3.0	0.0	0.0	0.0	—
（参考）前期実績	38,718	1,349	1,407	757	18.27

(参考) 平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,000	1,100	1,200	700	16.88
今回修正予想 (B)	37,000	1,100	1,200	700	16.88
増減額 (B - A)	△1,000	0	0	0	—
増減率 (%)	△2.6	0.0	0.0	0.0	—
(参考) 前期実績	37,469	944	1,162	679	16.40

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(たな卸資産の評価方法)

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し前連結会計年度に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税務費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,615	7,470
受取手形及び売掛金	11,462	11,641
有価証券	505	504
商品及び製品	3,278	3,313
仕掛品	1,343	1,337
原材料及び貯蔵品	1,064	1,081
その他	825	863
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	26,074	26,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,306	4,301
その他(純額)	7,763	7,719
有形固定資産合計	12,069	12,021
無形固定資産	50	66
投資その他の資産	4,416	4,516
固定資産合計	16,536	16,604
資産合計	42,610	42,797
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,496	6,742
1年内返済予定の長期借入金	—	300
未払法人税等	282	246
役員賞与引当金	30	44
その他	3,698	3,857
流動負債合計	10,508	11,190
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	4,422	4,123
役員退職慰労引当金	224	268
長期預り保証金	2,723	2,687
その他	395	377
固定負債合計	9,766	9,457
負債合計	20,274	20,647

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,451	5,451
資本剰余金	4,186	4,186
利益剰余金	12,784	12,662
自己株式	△5	△5
株主資本合計	22,417	22,295
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	69	44
為替換算調整勘定	△151	△189
評価・換算差額等合計	△81	△145
純資産合計	22,335	22,150
負債純資産合計	42,610	42,797

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	19,778	18,192
売上原価	14,476	13,135
売上総利益	5,302	5,056
販売費及び一般管理費	4,633	4,369
営業利益	668	687
営業外収益		
受取利息	14	8
受取配当金	7	5
持分法による投資利益	51	37
その他	29	16
営業外収益合計	102	67
営業外費用		
支払利息	53	32
支払手数料	—	31
その他	32	12
営業外費用合計	85	76
経常利益	685	678
特別利益		
固定資産売却益	1	2
受取補償金	30	—
その他	0	—
特別利益合計	31	2
特別損失		
たな卸資産評価損	113	—
固定資産除売却損	13	27
その他	0	—
特別損失合計	126	27
税金等調整前四半期純利益	590	653
法人税等	251	282
四半期純利益	339	370

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	590	653
減価償却費	739	812
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	278	298
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△86	△43
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	1
有形固定資産除売却損益 (△は益)	10	21
受取利息及び受取配当金	△21	△13
支払利息	53	32
売上債権の増減額 (△は増加)	536	179
たな卸資産の増減額 (△は増加)	42	46
仕入債務の増減額 (△は減少)	△511	△245
その他	31	122
小計	1,659	1,865
利息及び配当金の受取額	21	13
利息の支払額	△57	△35
法人税等の支払額	△224	△246
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,399	1,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△283	△412
定期預金の払戻による収入	218	303
有価証券の取得による支出	△15	△1
有価証券の売却による収入	6	—
有形固定資産の取得による支出	△664	△957
その他	△190	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△928	△968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700	—
長期借入金の返済による支出	△950	△300
配当金の支払額	△247	△247
その他	△0	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△498	△588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△33	37
現金及び現金同等物の期首残高	8,690	7,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,656	7,508

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	メディカル事業部 (百万円)	テープ事業部 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,073	13,705	19,778	—	19,778
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	41	63	(63)	—
計	6,095	13,747	19,842	(63)	19,778
営業利益	1,321	789	2,111	(1,442)	668

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	メディカル事業部 (百万円)	テープ事業部 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,894	12,297	18,192	—	18,192
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	37	57	(57)	—
計	5,914	12,335	18,249	(57)	18,192
営業利益	1,312	818	2,131	(1,444)	687

(注) 1. 事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部(組織)を基本として区分しております。

2. 各事業部の主な製品及び商品

(1) メディカル事業部……スピール膏※・ロイヒつぼ膏※・ケアリーヴ※

(2) テープ事業部……セロテープ※・クラフトテープ・布テープ・ナイスタック※・たばねら※テープ

※は登録商標を示しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所存する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。